

ゆめ

に向かって！



大阪市立豊新小学校
校長室便り④
令和8年10月2日

10月になりました。猛暑・酷暑の夏も終わり、最近では朝夕めっきり涼しくなり、まわりを見渡しても秋の訪れを感じる季節になってきました。2学期は行事が盛りたくさんです。全力で取り組んでほしいと思います。



自然体験学習で鉢伏高原へ（5年生）

先月の9/10～12に5年生が自然体験学習に行ってきました。しかし、鉢伏高原の天気がとても不安定だったためプログラムの内容や日程を入れ替えたり、雨用プログラムに変更したりと空とにらめっこしながらの実施となりました。

1日目は曇り空。雨は大丈夫でしたが、前日までの大雨の影響で川が増水し、予定していた魚つかみを翌日にまわし、2日目に予定していた登山を安全なコースに変更して実施しました。また、夜のキャンプファイヤーはとても盛り上がりしました。2日目の朝は残念な雨でしたが、プログラムを入れ替えながら実施。多目的ホールでゲーム大会、屋根のある集会場でシャーベット作り、焼き板工作。夕食は炊飯場でカレーを作ってみんなでおいしく食べました。そして、アスレチックは天候が回復した3日目におこない、結果的には計画していたすべてのプログラムを順番に入れ替えながらすべて実施することができました。最終日には青空が広がり、高原に吹く風が爽やかで心地よかったです。



子どもたちはプログラム変更の連続で大変だったと思いますが、班長を中心に時間を守り、みんなで協力してよくがんばりました。今回の学習で大阪では味わえない大自然を満喫し、互いのことを思いや

り、仲間と協力することの大切さを学ぶことができた貴重な体験となったことでしょう。（活動中の写真はホームページに多数載せています。ご覧ください）

ちょっといい話

児童朝会でも話しましたが、先週、地域の方から学校に電話がありました。その方は子どもと一緒に公園で遊んでいたのですが、子どもが自転車に乗っていてころんでケガをしたそうです。その時、それを見ていた豊新小学校の4年生児童数名が子どもを助けてくれて、バンドエイドまで貼ってくれたことが嬉しかったと学校にお礼の電話をくださったのでした。

これこそが「豊新小学校のあいいうえお」の「お」の「思いやり」の心。相手が困っていたら手を差し伸べることができる思いやりです。とても素晴らしいことです。電話でお話を聞いていて校長先生もとても嬉しくなりました。そして、



「豊新の児童はこんなに素敵なんだー」と大声で自慢したくなりました。このように誰かが困っていたり、大丈夫かなあて思ったときに手を差し伸べられる人になりたいですね。その勇氣に感謝です。ありがとう！

「情けは人の為ならず」（なま ひと ため）ということわざがあります。

これは、「人に親切にすれば、その相手のためになるだけでなく、いずれは巡って自分に返ってくるので、人には親切にした方が良い」という意味です。誰にでも、どんな時にでも「感謝」の気持ちと「奉仕」の心を持ってください。それは必ず自らの幸せにつながります。心も成長できる人になってください。

編集後記 毎日、朝の清掃活動をしているお友達がいます。ボランティアで校内や学校周辺、地域のお掃除を頑張ってくれています。「豊新小学校のあいいうえお」の「う」は「美しい学校」です。校長先生はこれを「朝活クリーンアップ大作戦」と名付けました。そして、みんなのために頑張っている人たちを「豊新クリーンアップ隊」と呼ぶこととします。これからも学校や地域のため、奉仕の心を持ってクリーンアップ隊にどんどん参加してほしいと思います。豊新小学校が今以上に素晴らしい学校になるよう、ひとり一人が自主的に朝活をしましょう！（校長 尾崎士郎）

